平成３１年３月発行

企画・編集・発行：上池袋まちづくり協議会
豊島区地域まちづくり課

上池袋地区

題字：西村鵲洞　氏

まちづくり～生活環境の向上をめざす～ニュース

No.６４

上池袋１丁目
平成のまちづくりを振り返ります

上池袋第１地区まちづくり協議会では、本年度、これまでの協議会活動や、それによってまちがどのように変化してきたか等の活動成果を振り返るとともに、今後のまちづくりを考えていくための基礎資料として、「活動記録」冊子を作成しました。

協議会 24 年間の主な活動と平成の上池袋一丁目のまちの変化を、次ページにまとめましたのでご覧ください。

上池袋第１地区
まちづくり協議会
会長　菅沼　稔

協議会活動に二十余年参加してきました。生まれも育ちもこのまちです。昔と比べると、まちは様変わりしてきたと感じます。

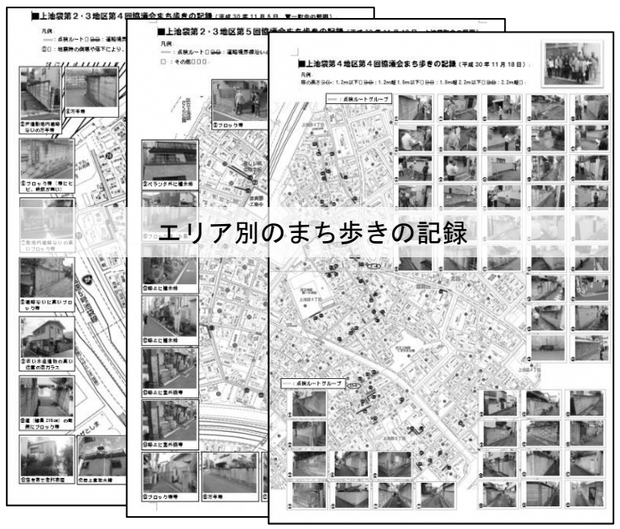
自営業の住民が減り、地域活動の担い手も減ってきていますが、より多くの人に地域のまちづくりに関心を持って貰うことで、我々も地域に貢献できる活動が行えると思います。

上池袋２・３・４丁目では、まちのブロック塀等を点検しました

上池袋第２・３・４地区まちづくり協議会では、一昨年の熊本地震、昨年の大阪北部地震でブロック塀が倒壊し、犠牲者が発生したことから、本年度は、危険なブロック塀を改善する活動を重点的に取り組んでいます。

昨年 11 月には、地震により人的被害や道路閉塞の危険を感じるブロック塀等について、町会にもご協力頂きながら、まち歩きにより点検し意見交換しました。

裏ページをご覧ください。



第２・３・４地区　（上池袋２丁目・３丁目・４丁目の範囲）

まちのブロック塀等を点検しました！

第２･３･４地区協議会では、地震により人的被害や道路閉塞の危険を感じるブロック塀等について、まちを歩いて点検し、その結果をまとめて意見交換しました。

Voice（意見交換の一部をご紹介）

- 老朽木造家屋や老朽空き家に、古いブロック塀があるね
- 各自が、自宅のブロック塀の安全性をチェックすべき
- 塀や庇、屋根の上に置いてある鉢植えも落ちてきたら危ないよ
- うちの地区では、地盤に高低差があって、擁壁の上にブロック塀が積まれている高い塀も多かった
- 高齢者は、「塀を直しても仕方がない」と思うだろうから、どうしたら良いか
- 新築が増えていて、新築にはブロック塀がないな

各エリアで分担して、まちの点検をする様子（実施日：2018 年 11 月 5 日、13 日、18 日）

危険塀改善に向けて、豊島区の助成制度があります。まずは、お問い合わせください。

来年３月末までの特別措置でより手厚い助成も！

【問合せ先】都市整備部 建築課　許可・耐震グループ TEL：03-3981-0590

ご連絡お待ちしています！

まちづくり協議会ではご参加いただける方を募集しています。詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。

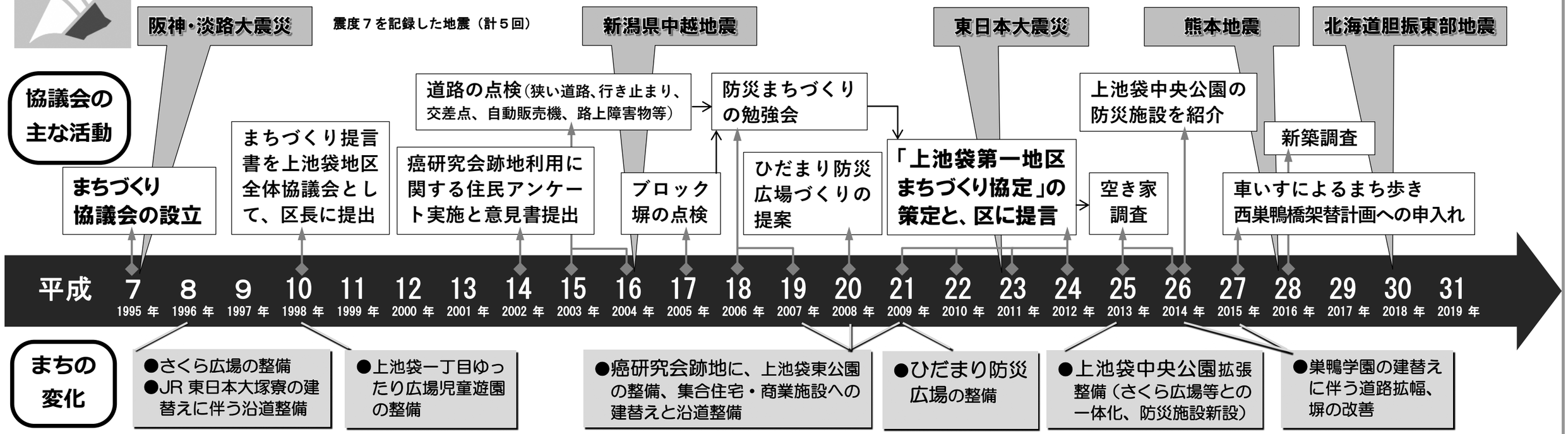
〒171-8422　東京都豊島区南池袋２－45－１
豊島区都市整備部　地域まちづくり課　TEL　３９８１－１４６４

平成３１年３月発行「上池袋地区まちづくりニュース No.64」
企画・編集・発行：上池袋地区まちづくり協議会・上池袋まちづくり協議会事務局（豊島区都市整備部地域まちづくり課）
編集協力：防災都市計画研究所　TEL　３２６２－６３７６

第 1 地区 （上池袋１丁目の範囲）

第１地区まちづくり協議会の主な活動とまちの変化

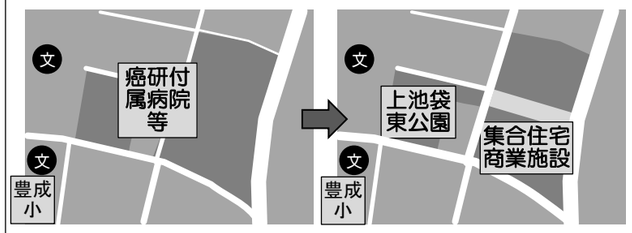
第１地区協議会では、これまで「災害に強く住み続けられるまち」を目指して、①区などが行う事業について生活者の目線から地域の意見をまとめて提案し、②地域とまちの課題を共有しながら、③防災まちづくりルール作成などの活動をしてきました。この 24 年間の活動を振り返ります。



道　路

●癌研究会附属病院等の移転後、平成 19 年度（2007 年度）～平成 21 年度（2009 年度）の集合住宅や商業施設への建替えに伴い、敷地周囲の道路が拡幅整備され線形がスムーズになりました。

＜癌研究会附属病院等の跡地整備＞



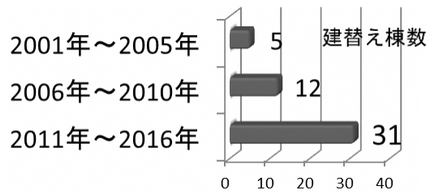
整備前　　整備後

●平成 24 年度（2012 年度）～平成 27 年度（2015 年度）の巣鴨学園の改築に伴い、敷地周囲の道路が幅員４m以上に拡幅されました。

●豊成小学校への重要な避難路となる B1 路線沿道では、住宅や巣鴨学園の建替えに伴うセットバックや隅切りにより、道路幅員が４m以上に広がり、交差点での見通しも良くなりました。

建　物

●地区全体に建替えが多く、まちの耐震性、耐火性は向上しています。協議会による平成 28 年度（2016 年度）の新築調査では、平成 13 年度（2001 年度）から平成 28 年度（2016 年度）までに計 48 棟が建替わっており、とくに最近は建替え棟数が多くあります。



●但し、区有通路周辺では、再建築ができないことから、建替えが進んでおらず、災害時の火災延焼、逃げ遅れなどの危険があります。

●近年、課題となっている空き家は、平成 25 年度（2013 年度）調査開始時には 18 件の空き家と思われる建物を確認したものの、同年をピークにその後増減しながらも減少傾向にあり、平成 30 年度（2018 年度）は 12 件です。

塀

●近年は、塀を設けない建替えが多く、平成 28 年度（2016 年度）の新築調査では、新築建物の全てでブロック塀が撤去され、全く塀が無いか、フェンスにしています。ブロック塀が無いことで、災害時の避難の支障にもならず、平時の圧迫感も無くなりました。

●但し、建替えが進んでいない区有通路周辺では、ブロック塀がそのまま残っており、災害時の危険は解消していません。

●平成 24 年度（2012 年度）～平成 27 年度（2015 年度）の巣鴨学園の改築に伴い、道路拡幅と合わせて古い擁壁や重量塀も撤去されました。

＜巣鴨学園沿道整備＞

2005 年度の様子

2014 年度整備後の様子

公　園

●癌研究会附属病院等が移転し、平成 20 年度（2008 年度）に上池袋東公園 4,046 ㎡が整備されました。同年、ひだまり防災広場 221 ㎡も整備されています。

＜ひだまり防災広場整備＞

2005 年度の様子

2008 年度整備後の様子

●平成 26 年度（2014 年度）には、上池袋中央公園が 1,537 ㎡に拡張整備され、かまどベンチなどの防災施設が設けられました。

●上池袋１丁目の公園面積は、平成 30 年度（2018 年度）現在、合計 7,224 ㎡です。一人あたりの公園面積は 1.39 ㎡/人であり、豊島区平均 0.70 ㎡/人の約２倍です。